



広報

うまじ

第198号

平成13年4月1日発行



発信!!馬路から杉の香りを

木造建築の良さを知ろう

馬路村の面積の96%は森林です。この豊富な森林資源を生かすため、村ではさまざまな取り組みを行っています。このなかで、馬路の木材を使ってもらうために、製材所に乾燥機を設置したり、木製トレーの生産などを進めています。

現在、木材についての正しい情報が不足し、木造住宅を建てる人が少なくなっています。このフォーラムをとおり、木造建築の良さを知ってもらい、木材についての正しい情報を伝えることは、馬路の森と清流を守り、林業、木材産業の振興にもつながります。

(関連記事2～3ページ)

目次

特集	木造建築研究フォーラムほか	②③
教育	体験活動の新しい潮流	④⑤
国際交流	にこにここら INヨーロッパ	⑥
	消防表彰ほか	⑦
健康福祉	リサイクルで地域が変わる	⑧⑨
教養	馬路村の歴史と伝説ほか	⑩⑪
お知らせ	フォトウォッチング	⑫⑬
	赤ちゃん万歳	⑭
	村のできごと・村内あちらこちら	⑮

特集

『木造建築研究フォーラム 馬路』開催

—木造建築関係者が全国から集まる—

平成十三年三月十七日(土) 馬路村体育館で、『木造研究建築フォーラム第三十九回公開フォーラム』が村と同フォーラムの主催で開催されました。会場と



▲ 木造建築研究フォーラム受付 (馬路村体育館)

材など自然素材を使った建築の可能性について考えました。木造建築研究フォーラムは、東京大学名誉教授で木造建築の権威である内田祥哉(よしちか)氏を会長に全国で約千人の会員がいる木造建築研究の全国的な組織です。同フォーラムでは、今回のような公開フォーラムを全国で開催するほか、講演会や見学会、会誌の発行などの活動を行っています。

漆喰、土壁についても 見直しを

今回、馬路で公開フォーラムを開催したのは、高知県が魚梁瀬杉や土佐漆喰など自然素材の産地であり、それを生産する職人、デザインする設計者が共同して新しい試みを行っている地域社会でもあること、その中で馬路村は山村から全国への情報発信を成功させているきわめて元気な自治体であるということがひとつにあります。また、木造建築に携わるより多くの人に馬路村のファンになっていただくことが、現在、村が取り組んでいる林業、木材産業の振興を進めるうえで重要であるということも大きな理由です。会場には、入口近くに杉林



▲ 森の再現 裏方さんも大変!!

と小道を作り、舞台にも杉の木を配し、馬路の森のイメージを演出しました。また、馬路の森から木製品ができるまでをわかりやすくまとめたパネルや、株式会社エコアス馬路村が木製トレーやうちわを、馬路林材加工協同組合が一般消費者にわかりやすいよう品質や価格表示した柱や床材などを展示し、多くの参加者の関心をあつめていました。この中で床材については、実際にその上にあがることができ、木の感触を楽しむことができるといっていました。

このほか、梶原町で取得した、持続的な森林経営を支援するための国際認証機関であるFSC(森林管理協議会)の認証についてのパネルや製品を高知県森林政策課が展示しました。初めに安岡正人東京理科大学教授をコーディネーターに井上勝夫日本大学教授が木造建築と音の関係について、木の何でも相談室長でもある岡野健東京大学名誉教授が木材の環境性能について、渡辺一正国土交通省建築研究所地震防災研究官が漆喰、土壁につ

いて講演を行いました。

正しい情報を消費者へ

続いて、村長が馬路村の紹介を行った後、「自然素材を生かした建築と循環型社会―高知からの発信―」と題してシンポジウムを行いました。

塚越功慶応義塾大学大学院教授をコーディネートに有馬孝禮東京大学大学院教授、永野正展氏、橋本大二郎知事、松崎了三氏、山本長水氏の五名が話し合い、「木材は高い、火に弱いのではといったイメージがあつて、木の良さ、本当の価格などの情報が伝わっていない、意識の壁を取り払うように時間がかかっても正しい情報を一般消費者に伝えていくことが必要」などと幅広く議論しました。

この中で、塚越教授は、専門の防災の立場で、これまでの建築の法体系は、関東大震災の火災の教訓から、木造建築ができていくものとなつていくことを指摘しました。有馬教授は、木材には炭素を貯蔵する機能があり、適切な人工林の整備と木造建築は地球温暖化防止に役立つと意見を述べました。

永野氏は、自社の建物を補

助金を使わず木造で建築した取り組みについて述べ、橋本知事は県庁の事務机をスチール製よりも高価な木製のものに替えたことを例に挙げ、その価格差をどういうことでうめていくかが重要であると主張しました。

また、当村のユズ加工品の販売戦略に深くかかわつてきた松崎氏は、消費者の心理を十分考慮した木材製品の販売戦略について、山本氏は、設計者の立場から木造建築の良さについて意見を述べました。シンポジウムの後は、コミュニティセンターうまじで、親睦会が開かれ、馬路流のもてなしで、参加者との交流を深めました。

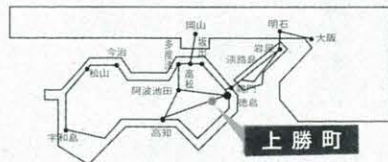
今回の公開フォーラムの開催に当たり、当初の予想を超えた参加があり、イス、スリッパの調達などに馬路小学校、中学校ほか多くの方々のご協力を賜つたことに感謝いたします。また、全国の木造建築に携わる方々に馬路を知ってもらい、ファンになつてもらつたことは、今後の当村の林業、木材産業の振興にとって非常に有意義なことであると考えています。

(役場産業建設課 高屋敷)

一上勝町視察研修に参加して一

馬路婦人会

岩城佳子



二月二十四日、雨雲の垂れる中を教育委員会の協力により、馬路村婦人会一泊研修として婦人会員二十五名が徳島県上勝町へ出発しました。往路は東回り海岸線を眺めながら小松島市へ到着。上勝町は左へ約四十分程山の中へ走つた所でした。勝浦川の流域にわずかな平地があり山腹の斜面には階段状の田畑と人家が点在して、人口二千三百人が五十五の集落に分かれており、高齢化率も三十六%と馬路以上の

厳しい条件の下に思われよう。月々谷保養センターの役員的美馬さんが、地場産の直売市のいっきゅう茶屋で四国一小さい町の上勝町が過疎をく



▲ 熱心に説明を聞く婦人たち

い止め町づくりをしようと研修を重ね、今では五つの第三セクターを経営していることを説明され、その一つである(株)モクサンが開発した、三日で建つと言うパネル住宅を見学した後、美馬さん宅で「彩り」という木の葉などを料理のつまとしてパックに詰める所を見せてもらいました。その後、役場で横石課長補佐より彩りの事業を開始してから順調に実績を伸ばし、現在では村の防災電波の端末を利用したパソコン四十台を導入し高齢者でも簡単に操作できるシステムにして、市場の価格や、ニーズ、出荷量などの情報を提供している。その結果、高齢者が木の葉などを採集するのに忙しく、いきいきとしてお金を稼いでいる。現在では年商一億五千万に上るといふ。

福祉は、ただ老人に対し優しくさえあれば良いと言ふのではなく毎日の生活の中に生きがいを見いだし、自然と共存していく事も老人福祉のもう一つの本質ではないだろうかと話されました。私は、上勝町の、自分の住んでいる町に誇りを持ち、自信を持って暮らしていく、定住意識の強い住民づくりとして、町の職員は勿論、各職場、女性や高齢者を問わず、あらゆる分野を対象にいち早く社会の現状を把握し、問題解決に真剣に取り組んでいる姿に感心しました。

そして、これからの住み良い馬路村づくりの為に、良い所は取り入れて頑張らなければと心に誓いながら帰路に着きました。

教育

体験活動の 新しい潮流

楽しみながら

信頼関係を築く

—ウインターキャンプ—

冒

人を心から信頼し、人に心から信頼される体験。それが未知の世界へ踏み出す勇気を与えてくれる。「冒険」は人を育てる上でかけがえのない宝なのだ。

二月十日、十一日に魚梁瀬森林公園にて、『ウインターキャンプ』を実施しました。馬路と魚梁瀬の両小学校から計十一名の子どもが参加。魚梁瀬子ども会の島田朝彰さんの指導のもと、さまざまな体験活動を楽しみました。

今回の活動では、馬路村の教育課題「少子化のため、子どもとの人間関係を構築する力が弱くなっている」を受けて、自然体験というよりも、むしろ楽しみながら信頼関係を築く『プロジェクトアドベンチャー』というアメリカの冒険教育の手法を取り入れました。

「アドベンチャー」とは、未知に挑戦することです。そして危険がつきものです。冒険教育では、教育的に配慮された「危険」をうまく活動に取り入れ、それをグループで乗り越える過程で、信頼関係を築く環境を作り出すことができるのです。

さて、平成十四年度から完全週五日制がはじまります。教育委員会では、夏の『オールナイトキャンプ』や『安田川・水辺の楽校』、秋の『天保の家・通学合宿』、冬の『ウインターキャンプ』に、さらに春の行事を企画して、社会教育のレベルで馬路と魚梁瀬の子どもが交流し、四季を通じて豊かな体験活動を整備していきたいと考えています。



整地されていない石だらけの斜面を、リーダーの指示だけを頼りに、目隠しをして歩く。前の人の肩に手をのせ慎重に慎重に足を運ぶ。こわいけれど楽しい活動の過程で仲間との心の結び付きが強くなる。

『プロジェクトアドベンチャー』

「冒険」を身近に体験するため、アメリカで開発されたプログラム。人と人との信頼関係を築きながら、冒険プログラムにチャレンジすることで、新しい自分を発見できる。

現在、「冒険教育」として青少年教育の重要な役割を担っており、心理治療や企業研修、地域づくりなどさまざまな分野に生かされている。

信

人間関係を築くとき一番大切なものは「人を信頼する心」だ。しかし、それは言葉で教えることはできない。自らの体験によって心の中に芽生え、育つものだ。



▲ 「どこにどんな危険があるか」みんなで頭
▲ を突き合わせて考える

危険予知トレーニング

魚梁瀬再発見ウォークラリー

キャンプ場から魚梁瀬の集落までいろいろ
なものを発見して歩いた



▲ ひもにさわらずに、全員が向こうへ渡れる
▲ か？ グループ全員が協力して、課題を解決

イニシアティブゲーム

朝食の手づくりパン

竹の棒にねじりつけたパンをたき火でじっ
くりと焼く こんがりといいい匂い



ふれあい話しあうことで
少しずつ近づく 心と心の
距離



目と耳と心で楽しむ

親子読書

魚梁瀬親子読書教室

二月二十七日から二週間、火曜日と木曜日に、魚梁瀬地区の保育園年中組から小学校三年生までの親子を対象に、親子読書教室を開きました。

初日は、魚梁瀬小学校の浜渦真由美先生と国際交流員のニコラさんに「どろんこハリー」を日本語と英語で読んでもらいました。

二日目以降は、魚梁瀬小学校の久保政子先生、参加してくれた保護者の方々や子どもたちにも読んでもらい、複数の家族で、楽しい読み聞かせの時間を共有することができました。



馬路村のみなさん、 お元気ですか？



国際交流員 **ニコラ・フィンクル** さん
(ニュージーランド出身)

前は、ロンドンでおばあちゃんとの再会について書きましたが、今回は、親戚も知り合いもないアムステルダムへ行ったことを書きたいと思います。帰ってきて3ヵ月も経ちましたので、感動した事やびっくりした事や、ウワー！と思ったときの思い出がだんだん薄くなってしまい、ちゃんと旅行中に日記を書いていたらよかったと今、後悔している気持ちです。

ロンドンからアムステルダムへ飛んだけれど、パスポートも見せずに税関を通ることができました。日本やニュージーランドの税関ではそんなに簡単に通れないでしょう？。イギリスに入国したとき、「何をしにきましたか？」、「どこに泊まりますか？」、「職業は？」、

「ニュージーランド人なのに、どうして日本から来ていますか？」、「今、現金をいくら持っていますか？」等々、不審そうにたくさん質問をされました。

最初はロンドンに到着した時には、厳しく聞かれましたが、EU(ヨーロッパ連合)に入ったら、ヨーロッパ全体を自由に回ることができるな、と思いました。アムステルダムの冬は寒くて雪が降るわりには人

気があり、観光客が夏と変わらないほどたくさん人がいました。オランダ人は花火が大好きで



アムステルダムの運河の風景

す。大晦日、夜の11:45くらいに、バーン！バーン！とすごい音が耳に届いたので、外をのぞいて見ました。雪や寒さも気にせずに子どもと親、若者のグループが花火で楽しんでいました。路面は花火の燃えかすで真っ赤になり、いっぱいになっていました。車で移動すると、上からも下からも

花火が爆発し、交戦地域の真ん中にいるようでした。オランダと言えば、世界一自由な国という評判があるのに対して、アムステルダムでは印象に残っているのは、カルチャーの中心であり運河上に造られていて、興味をそそる生活ができそうなところだなあと感じました。

GENKI青年会2001 土佐弁ミュージカル

去年は、大勢の馬路村民が「山桃太郎」の土佐弁ミュージカルを見に来てくれて、素晴らしい思い出ができ、感謝でいっぱいです。また今年GENKI青年会が土佐弁で「土佐未来日記：かくや姫の愛」を公演致します。「見に来れるやつたら、ぜひ見に来てや！」

日時・場所などは下記のとおりです。

4月14日(土)

大豊町農工センター文化ホール 13:00~14:30

北川村民会館 18:00~19:30

4月15日(日)

赤岡村民会館 13:30~15:00

4月21日(土)

窪川町四万十会館 13:30~15:00

東津野村老人ホーム高原荘 18:00~19:30

4月22日(日)

池川町小学校体育館 11:30~13:00

高知市ふくし交流プラザ多目的ホール 16:00~17:30

勲六等単光旭日章
高知県知事表彰
消防功勞

昨年、十二月八日、秋の叙勲で山中福治さんが、勲六等単光旭日章を、また、笹岡保さんが、高知県知事表彰を受賞されました。お二人は、多年にわたり消防団員として、消防防災活動に精励され、常に消防団員の先頭にたち、火災・災害の発生時や、人命救助などに率先出動し、被害を最小限にとどめた功績は大きいものがあります。また、奉仕と郷土愛の理念に立ち、地域の発展に尽くされました。

平成十七年度生涯スポーツ
推進県民会議顕彰

二月十日、県庁正庁ホールで井上洸士郎さんが、生涯スポーツ推進県民会議顕彰を受賞されました。井上さんは、地域住民の健康、体力づくりの推進のため、豊富な知識と経験を生かし、体育事業に取り組んでいます。また、馬路・魚梁瀬連合体育会副会長、魚梁瀬体育会会長として、スポーツの普及振興に尽力されており、その活動を高く評価されての今回の受賞となりました。



魚梁瀬体育会会長
井上洸士郎さん (55)



馬路村消防団団長
笹岡 保さん (73)



馬路村消防団元副団長
山中福治さん (71)



前列右より
乾 佐美子 岡田 葛枝 清岡くに子 小松和嘉子
清岡 雅子 清岡美和子 岡田 繁子
後列右より
下田 幸恵 岩城美奈子 吉本 禎子 笹岡 久子
吉松干津子 馬路公民館二階にて

二月八日木曜日の午後、今日は針供養の日。一年に一度針を休ませる日だ。十二人の昔の乙女？は折れた針や曲がった針の労をねぎらい感謝する。持ち寄ったご馳走を食べながら世間話に花を咲かせ世界でたったひとつの作品

を丹精込めて作り上げる。「仕上がった時の充実感がこれまた、たまらん！」週に二回の裁縫の日が楽しいよ」と笑ったみんなの顔が輝いていて印象的だった。これが乙女？らの若さの秘けっかな？

一針一針心をこめて
針供養

環境衛生

4月からペットボトルとその他のプラスチックの収集を開始しました。それに伴いビン・カン・廃食油の収集日が変更になりましたのでお知らせします。

次のとおり、馬路・魚梁瀬地区の収集日等一覧をご覧ください。また、詳しくは3月にお配りしました、『馬路村のゴミ処理と分別収集』を参考にしてください。

馬路地区		
ゴミの種類	収集日	出し方
燃えるゴミ	月・木曜日	透明か半透明の袋
燃えないゴミ	第2・4水曜日	破れない厚い袋
ビン	第3水曜日 (雨天の場合は順延)	役場配布の緑色のネット袋
カン	第3水曜日 (雨天の場合は順延)	透明か半透明の袋
廃食油	第3火曜日 (雨天の場合は順延)	中身の見える入れ物
ペットボトル	第3火曜日	透明か半透明の袋
その他のプラスチック	第3火曜日	透明か半透明の袋
紙類	第4水曜日 (雨天の場合は延期)	紐で縛る・袋

魚梁瀬地区		
ゴミの種類	収集日	出し方
燃えるゴミ	火・金曜日	透明か半透明の袋
燃えないゴミ	第1・3水曜日	破れない厚い袋
ビン	第3木曜日 (雨天の場合は順延)	コンテナに入れる
カン	第3木曜日 (雨天の場合は順延)	透明か半透明の袋
廃食油	第3木曜日 (雨天の場合は順延)	中身の見える入れ物
ペットボトル	第3水曜日	透明か半透明の袋
その他のプラスチック	第3水曜日	透明か半透明の袋
紙類	PTAが回収します その都度、お知らせします	紐で縛る・袋

リサイクルはあたりまえという
あなたの意識で地域が変わる

【新しくなりました馬路村の分別収集】

リサイクルは、消費者が馬路村が定める収集ルールにしたがい分別排出を行うことから始まります。

分別排出は、消費者一人ひとりの大切な役割です。ごみ問題を他人ごととせず、自らの問題、地域の問題として積極的にリサイクル活動に協力しましょう。



※ご不明な点は、役場健康福祉課（TEL 4-2112）環境衛生担当までお問い合わせください。

～住まいの環境相談を行います～



皆さんの住まいは健康ですか？

私たちが毎日の暮らしを営んでいく上で、
住まいは、なくてはならない大切なものです。
また、その住まいが良好であることは、
私たちの生活の豊かさを高めることになります。



最近、新築や改築後の住宅から発生する化学物質など
による健康への影響、いわゆる『シックハウス症候群』が
懸念されています。

これは使用された建材から拡散する化学物質により
『目がチカチカしたり、のどに痛みがあつたり、頭がボーッととなつ
たり』といった症状が出るものです。

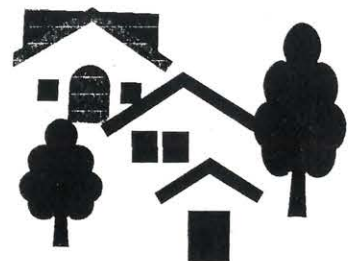
化学物質に過敏な体質になる『化学物質過敏症』の引き金になる
ことも指摘されています。

- 新築や改築した家などで目がチカチカしたり、刺激臭がする
- 室内の空気や換気のこと気がなる
- ダニによるアレルギーが心配

これらの相談がある方はいらっしゃいませんか。

保健所ではご希望の家庭を訪問して住まいの環境調査を行います。お気軽に相談してください。

お問い合わせ、お申し込みは
安芸保健所 環境課 まで
TEL 0887-34-3175
FAX 0887-34-3170



馬路村の
歴史と
伝説



(通算第92回)

馬路公民館長 山中 巖

魚梁瀬・馬路の官林の
藩政末期から明治初期
にかけての状況 (3)

さて、藩政時代よりこの山林を保護することは非常に厚く、その上に法を守ることは厳密であつて、元禄年間(一六八八年〜一七〇三年)より阿波との国境に八ヶ所の番所を設け、それぞれの番所に足軽二名を置き、年ごとに一度の馬廻り役が巡視をして、盗伐を防いでいたのである。

ある説によると、盗伐を防ぐだけでなく国境を警備さしていたものであるとも言う。また制度米と言つて、一年に米八十石を魚梁瀬村内に置き、諸費用に当てていたのである。この地方は山深い中にあり気候は寒冷で、夏でも蚊帳を使う必要がない。平地

しかしながら、魚梁瀬村の生活の基盤は、この官林を大切にするところにあるとの認識のもとにこれを愛護する気持ちは変わらず、今日まで、一人たりとも官木を盗伐したことはないと言ふ。この山村の純朴な習慣、ならわしの心に心を打たれた。その西につづいて、馬路村の官林があり、反別はおよそ六千町歩である。その林相や樹の種類は、魚梁瀬村の官林と非常によく似ている。

以上で、藤田さんの魚梁瀬官林概況は終つています。阿波から魚梁瀬村へ入つて、馬路村に來られたかどうかは、はっきりわかりません。しかし、一般的に言つて、馬路村を通つて安田へ出るのが、通常の経路であつたと思ひます。さて、今までの紀行文に出てくる人口の問題など、一つ二つ感想を記してみたいと思ひます。まず人口の移り変わりですが、約八百年前に平家の落人が魚梁瀬に隠れ住み、約四百年前の戦国時代に、長宗我部元親と戦つて敗れた北川城主北川玄蕃頭の弟三郎左衛門が、家臣等と魚梁瀬に逃げて來ました。北川氏の子孫はのちに魚梁瀬村の庄屋、山番になります。(馬路村長

馬路村歌壇

二十世紀の元日今日はとんび二羽

農協の屋上に村を見つめる

雅子

針供養するは老いたるわれらにて

おのおのが若き日々語らいて

久子

寄する波束の間溜る岩の間の

狭きに駆けては祭の汐汲む

源治郎

大根入れあらを炊きたき今朝の寒さ

行けど行けどもあら見当らず

佐由里

古への棚田の雪はしらじらと

水減りし湖の縁に光れり

満

呼びくれて営林支所の新年会

これが最後かもこもこも話す

潔子

病み病みて何希うなく逝きし叔父

今日の別れの日も小雪舞う

佳子

過ぎし日の職遠くなり山茶花の

赤い花卉にいのちのいろ見ゆ

千恵子

二人の媪続き見送り身にしみる

師走の風の中帰り来る

安子

落のとうみじんに切りて味噌汁に

放ちて妻と待ちわびる春

いわお



在りしむかしの魚梁瀬地区

を勤めた北川重盛は、この庄屋の子孫です。尚、平家の落人並びに、子孫が魚梁瀬に田畑が少なく、他に住居を探して住みついたところがあります。野根川流域（赤喰町）等ですが、これは項を改めて書きます。

外にも、魚梁瀬平氏の子孫と言う方が、南国市や赤岡町、東洋町など沢山居ます。少し話がそれたようですが先に書きました阿波の折宇村宇井の内は戸数八戸、人口約五十人とあり、当時は一戸当り約六人と考えるべきでしょう。

う。この事から、明治初年魚梁瀬村の戸数五十余戸とあり、ますから一戸六人と考えて、人口は約三百人と考えられます。明治二十四年（馬路村と合併してから）の人口は、戸数五十二、人口二百八十人とあります。（出稼ぎの関係で少ないのでは？）明治二十二年に魚梁瀬村小林区が設けられますが、まだ人口の増加に余り関係ないようです。明治四十四年魚梁瀬森林鉄道の完成によって馬路村（馬路地区、魚梁瀬地区）は、人口増加は勿論、経済、文化等の面で急速に発展を遂げるようになり、ます。なお、藩政時代、寛保二年（約二百五十年前）魚梁瀬村の戸数六十三、人口は三百十九人です。明治時代よりも人口が多いのです。その後、大正九年に国勢調査がはじまりその時の馬路村の人口は、二千三百八十人です。馬路地区、魚梁瀬地区別の人口は記録されていません。

つづく

◎お詫びと訂正

前号（広報十五ページ）の「海部郡木頭村」は、「那賀郡木頭村」でしたので、訂正してお詫びします。

馬路村俳壇

初夢は久しく見えず今年も見ず

集金に木橋をわたる風寒し

白菜を五軒にくばりなお余り

陽炎になれて一人で出かけます

前略と書きしのみなる春の宵

腰下ろす石にも春の兆しあり

声かけて梅の一枝もらいけり

寒晴れや石にあてたる鉄の音

日向ほしあ友この友まなうらに

氷雨打つ葉蘭のゆれの硬き音

髪切つて癒える予感す梅の花

生かされて生きるよろこび野火奔る

人の世に苦味も良し路のとう

文旦の透明の向こうに友がいる

天然木の根株もうなし山眠る

ご神体の石にも言う実千両

雅子

喜美栄

安子

清子

千鶴子

佳江

千恵子

いわお

子どものSOS

知らせて!

あなたの勇気が子どもを守ります。
虐待かなと感じたら下記へお知らせください。

- 高知県立中央児童相談所
高知市大津甲770-1 TEL088-866-6791
- 高知県立幡多児童相談所
中村市具同1283 TEL0880-37-3159
- 馬路村教育相談所 TEL4-2236
- 馬路村教育委員会 TEL4-2216
- 馬路村役場健康福祉課 TEL4-2112

平成13年度春のJICAボランティア 事業募集のお知らせ

- 1・募集期間 平成13年4月10日(火)
～5月21日(月)
- 2・応募資格 ● 青年海外協力隊
満20歳から満39歳までの日本国籍を持つ人
● シニア海外ボランティア
満40歳から満69歳までの日本国籍を持つ人
* JICA(外務省の外郭団体の国際協力事業団)
くわしくは、高知県文化環境部国際協力課
(TEL088(823)9605)

教育 委員会

広報うまじを郵送しています

村内に住んでおられる皆さんには、無料でお配りしていますが、ご兄弟や、お子さんなど村出身者が、村外で暮らしている場合に、広報うまじを届きたい、読みたい希望があれば、直接馬路村教育委員会から郵送いたします。

広報うまじは、一年間に六回の発行を原則としており、年間を通しての予約購読で、経費として五百円を前納して

いただくこととなります。これは六回分の郵送料として使用させていただきます。

○受け付け締め切り

平成十三年度分は五月二十一日とします。

○経費の払い込み

五百円を直接に教育委員会へ持参下さるか、郵便局の定額小為替で郵送下さい。

○発行計画

偶数月の一日付けで、十日ごろ発行。

○必要事項

届け先の正確な住所と氏名。

締め切り日までに受け付けが済んだ方に、郵送により平成十三年六月一日号から

一年間六回お届けします。ふる里の便りを広報紙とともに、ぜひいかがでしょうか。

各種教室のご案内

○各教室ともみなさんの参加をお待ちしています。

生花教室

開催日時 毎月 第2.4土曜日
PM1:00～5:00
開催場所 就業改善センター
講師 有澤美千子

日舞教室

開催日時 毎月 第2.4土曜日
PM2:00～5:00
開催場所 就業改善センター
講師 竹正里子

吟詠教室

開催日時 毎週 水曜日
PM7:00～10:00
開催場所 就業改善センター
講師 高橋和一

メッシュワーク教室 (馬路地区)

開催日時 毎月 第1.3金曜日
PM7:00～9:00
開催場所 就業改善センター
講師 和泉淳

民謡教室 (馬路地区)

開催日時 毎週 木曜日
PM7:30～10:00
開催場所 就業改善センター
講師 岡田数子

民謡教室 (魚梁瀬地区)

開催日時 毎週 火曜日
PM7:30～10:00
開催場所 魚梁瀬多目的施設
講師 岡田数子

洋裁教室

開催日時 毎週 火.木曜日
AM9:00～PM5:00
開催場所 馬路公民館
講師 吉本禎子

メッシュワーク教室 (魚梁瀬地区)

開催日時 毎月 第2.4水曜日
PM1:00～3:00
開催場所 魚梁瀬多目的施設
講師 和泉淳

ピアノ教室

開催日時 毎週 木.金曜日
PM3:00～7:00
開催場所 魚梁瀬杉の家
講師 川島節子

アートフラワー教室

開催日時 毎月 第2.4日曜日
PM1:00～5:00
開催場所 魚梁瀬多目的施設
講師 小松明美

子ども硬筆教室

開催日時 毎週 月曜日
PM4:00～6:00
開催場所 就業改善センター
講師 吉本盛一郎

「緑の募金」へご協力を!!

現在、水源林の整備、森林公園の整備、手入れ不足の森林整備に係る、普及啓発活動の一環として、「緑の募金」活動の推進を行っています。

期間は、平成13年3月1日から5月31日までとなっております。どうか募金活動の主旨をご理解のうえ、たくさんの方のご協力をお願いいたします。なお、募金箱の設置場所は、馬路村役場産業建設課前となっております。

平成13年度 「自衛隊幹部候補生」 募集のご案内

陸上自衛隊	一般幹部候補生	
海上自衛隊	一般幹部候補生	一般要員 飛行要員
	技術幹部候補生	
航空自衛隊	一般幹部候補生	一般要員 飛行要員
	受付：4月9日から5月11日まで 試験日：5月26日(土) 27日(日) 飛行要員のみ 場所：高知市内	

くわしくは、自衛隊安芸募集事務所 (TEL 0887-35-2749)

行政相談所だより(4)

総務庁行政相談委員
三宅 哲男

境界確定訴訟の特色は、境界という公法上のものを対象としている点にあります。

このため、私人間の権利をめぐる紛争を解決するための民事訴訟手続は、境界確認訴訟には、そのまま適用されないこととなります。

第一に、裁判所は、当事者が主張する境界線に拘束されることなく、境界を確定することができ、境界が証拠上明らか

「境界確定訴訟の特色」

らかにならない場合でも、必ず境界を確定しなければなりません。一般の訴訟では、裁判所は原告の請求が認められるか否かのみを審理判断し、認められないときは請求を棄却しなければならぬのと大きく異なります。このため、訴訟で相手方当事者の主張する事実を認める陳述を自白としますが、境界そのものについての自白は、裁判所を拘束しません。

第二に、当事者間の、所有権の範囲についての和解は有効ですが、境界そのものについて、裁判上の和解をして、移動することなく、その効力はないとされています。相手方の請求を認めて争わない認諾も、和解と同様に認められません。

第三に、境界確定訴訟においては、判決に不服がある当事者は上訴することができませんが、上訴審の裁判所は、不服申立ての内容に拘束されないため、不服申立てをした当事者に不利益に原判決を変更することもできるとされています。

こだわりの田舎豆腐

この道一筋、豆腐作り五十年の師匠より秘伝を習得!

大豆が良くなければ、こしの良い豆腐が出来ない。にがりの入れあんばい、まぜ加減、温度、すべて感でやる。「それがなかなかよ!」と笑顔で答える川内さん。

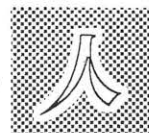
ぬくぬくの豆腐にしょうゆをかけ口にほおぼる。味をカメラに納める事が出来ないのが残念!この広報がお手元に届くころには、店先にお目見えしているかも?



仕上がったホッパホッパの豆腐

フォトウォッチング

川内一宏さん(相名)



▲真剣なまなざしで仕上がり確かめる川内さん(作業場にて)



中山 あゆみ (魚梁瀬)

平成12年6月27日生

(保護者 中山任鋭・美香さん)

こんにちは、あゆみです。私は、生まれる前から小学生のお兄さんお姉さんたちを声にかけてもらい、生後数ヶ月で小中学生のみんなに抱いてもらったり楽しい体験をしました。ひかりお姉ちゃんの保育への送り迎えでも、いろんな人から声をかけてもらってうれしいです。おすわりも上手になり、すきあればお姉ちゃんのお物をかみかみしています。物おじしない私を見て、海・山へ連れて行けると嬉そかに喜んでお父さん、程々にしてね。



皆 津 太 洋 (魚梁瀬)

平成12年5月8日生

(保護者 皆津宏晃・由理さん)

こんにちは。ボクは「皆津太洋」です。釣り好きな父の「海にちなんだ名前を付けたい！」という、たつての希望でこの名前になりました。両親の願いどおり、すくすくと成長したボクは、ムッチムチのプルンプルン♡二つ上の柚花ねえちゃんとの体重差が約1kgのナイスパディになりました。ボクを抱っこした人は口々に「重たいよ」などの「お腰がいたいよ」などとうれしい悲鳴をあげています。皆さんもぜひボクを抱っこしてみてくださいね。

赤ちゃん万歳

パパ・ママといっしょ

スポーツ安全保険

スポーツ安全協会傷害保険 (賠償責任保険付)

区分	対象となる団体	掛金 (1人年額)	傷 害 保 険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
			死 亡	後遺障害	入 院 (日額)	通 院 (日額)		
A	・子どものグループ (中学生以下) ・文化・ボランティア活動 (高校生以上)	450円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円	突然死による 死亡 140万円
B	・老人クラブ団体 (60歳以上)	800円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	財物賠償 500万円	
C	・成人のスポーツ (高校生以上)	1,400円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		

※新たに日射・熱射病、O-157等の食中毒が、傷害保険で補償されます。万が一に備えて、ぜひご加入をおすすめいたします。

■対象となる事故

●グループ活動中の事故 ●往復途上の事故

■保険期間

平成13年4月1日より翌年3月31日まで(申込受付は3月より)

お問い合わせ

馬路村教育委員会 TEL4-2216

役場魚梁瀬支所 TEL3-2211

村内あちらこちら



2月17日 魚梁瀬小学校学習発表会



3月3日 馬路小学校ひなまつり発表会



3月10日 森の情報館落成式



3月15日 馬路中学校卒業式



3月18日 魚梁瀬中学校卒業式

村のできごと

《2月》

- 6日 連合首長会、中芸開発臨時総会
- 10日 第19回東部美術展（～13日 東洋町）
- 17日 魚梁瀬小学校学習発表会
- 28日 森林組合総会

《3月》

- 3日 馬路小学校ひなまつり発表会
- 8日 3月定例議会（～14日）
- 10日 森の情報館落成式（高知市）
- 11日 森の情報館オープン（高知市）
- 15日 馬路中学校卒業式
- 17日 木造建築研究フォーラム
- 18日 魚梁瀬中学校卒業式
- 21日 巡回図書
- 22日 馬路・魚梁瀬小学校卒業式
- 23日 馬路保育所卒園式
村内4校終了式
- 24日 魚梁瀬保育所卒園式
- 27日 馬路村庄屋祭
- 30日 農業協同組合総会

氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	地区
大野 金延	男	73	13・3・14	大野金延	本人	影
藤原 藤利	男	84	13・3・10	藤原藤利	本人	魚梁瀬
甫木 八重菊	女	89	13・2・28	甫木八重菊	本人	影
大野 盛	男	93	13・2・24	大野盛	本人	相名
三宅 佑介	男	59	13・2・6	三宅佑介	本人	影
和田 實	男	85	13・2・1	和田實	本人	魚梁瀬
山崎 嘉代	女	82	13・2・1	山崎庄一郎	妻	魚梁瀬

ご冥福をお祈りします

宮口 大登	性別	父	母	生年月日	地区
宮口 大登	男	淳一	容子	13・2・8	影

ご出生おめでとうございます

4月・5月 むらの行事予定

月 日	4 月	月 日	5 月
1	日	1	火
2	月	2	水
3	火	③	木 憲法記念日
4	水	④	金 国民の休日
5	木 馬路保育所入園式	⑤	土 子供の日
6	金 魚梁瀬保育所入園式	6	日
7	土 村内4校入学式	7	月
8	日 馬路村観光開き(魚梁瀬丸山公園)	8	火
9	月	9	水 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 馬路村教育研究会総会(魚梁瀬多目的施設)
10	火	10	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~15:00
11	水 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00	11	金 3歳児健診(安田町保健センター) 13:00~受付
12	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~15:00	12	土
13	金 人権相談(就業改善センター) 10:00~15:00	13	日
14	土 職域ソフトボール大会	14	月
15	日 結いの丘ドーム落成記念	15	火
16	月	16	水 巡回図書
17	火 乳幼児健診(交流センター) 13:00~受付	17	木 ↑総合健診(馬路体育館) 8:30~11:00 森林教室(魚梁瀬小)
18	水 巡回図書	18	金 ↓(魚梁瀬多目的施設) 8:30~10:30
19	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~15:00	19	土
20	金	20	日
21	土 馬路地区PTA総会	21	月
22	日	22	火 馬路地区ソフトバレーボール大会(~24日) 1歳6ヵ月児健診(北川村保健センター) 13:00~受付
23	月	23	水 魚梁瀬健康ほっとサロン(魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00
24	火 魚梁瀬地区春季スカッシュバレーボール大会(~25日)	24	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~15:00
25	水	25	金
26	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~15:00	26	土
27	金	27	日
28	土	28	月
29	日 みのりの日	29	火
③⑩	月 振替休日	30	水 馬路・魚梁瀬小学校修学旅行(~6/1日)
		31	木 馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~15:00

3月末の人口
世帯数 523世帯
男 621人
女 651人
計 1,272人
(馬路 956人)
(魚梁瀬 316人)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010

E-mail adress umaji-v@edu.net-kochi.gr.jp

印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)